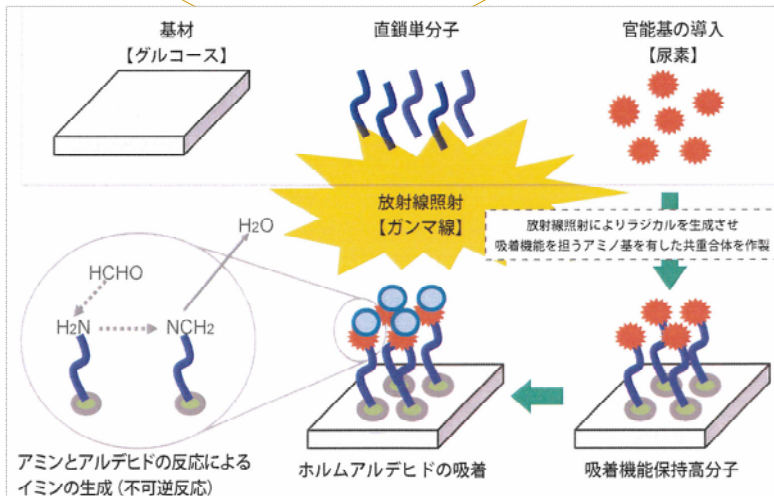


ホルムアルデヒドの危険性

吸着・分解で規制値以下に !!

- ホルムアルデヒド(FA)は特定化学物質に
- 放射線重合で生まれた機能性高分子が即座に吸着・分解



IRAC (2004) 発ガン性物質【グループ1】

ヒ素およびヒ素化合物
アスベスト
ベンゼン
カドミウムおよびカドミウム化合物
六価クロム化合物
ホルムアルデヒド (Formaldehyde)
ダイオキシン

など全53種 (2012現在)

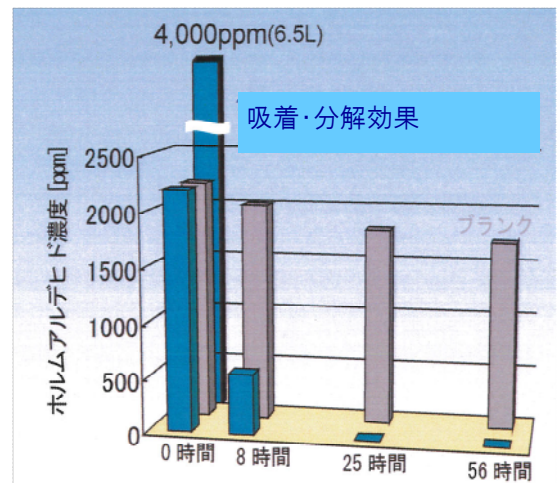
ユニトリスク値をホルムアルデヒドの室内濃度で換算すると、ホルムアルデヒドによる発ガン発症率は、

- 0.08ppm (100 μg) で 100 人に 1 人
- 0.04ppm (50 μg) で 250 人に 1 人

【中国の室内濃度指針値 0.08ppm】

- 2歳児未満の乳児のリスクは 10倍
- 16歳未満の若年層のリスクは 3倍

という高い値で、代謝が高い乳幼児・若年層は更に高まります。
大気中のベンゼンによる発ガン発症率が 10 万人に 1 人で規制されたことに比べるとホルムアルデヒドは、極めて高い発ガン性を持つとされています。



こんなところで使われています

- ・病院 ・実験動物施設
- ・医薬品分析センター
- ・建材製造工程 ・楽器製造工程
- ・船舶製造工程 ・内装品
- ・塗装、接着工程等

お問合せ先

有限会社 **メディア**

TEL:075-950-0055 FAX:075-461-0164

green_innovation_kyoto@yahoo.co.jp

- ・安定な高分子重合体 生活環境下では変質しにくい
- ・無害材料で構成 無害なグルコース・尿素が主成分
- ・再放散しない吸着 FAを不可逆な反応で吸着
- ・安価で高性能 材料、製法ともに安価で普及に貢献
- ・各種素材に塗布したり、含浸し使用。
吸引器でホルムアルデヒドガスを吸引することもできる。